

マツダ財団が科学技術事業助成で今年度支援している「安田女子高等学校」の STEAM 教育を見学しました。

秋分の日(9月23日)の9月23日。安田女子中学高等学校の文化祭が行われ、ここで STEAM コースの紹介も行われました。STEAM コースとは Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics の頭文字で、分野横断的に学んだ知識を活用して社会をより良くしていける 21 世紀型人材を育成するコースで、4 年生(高校 1 年生)から「特進」「総合」「STEAM」へと分かれます。



説明をしてくれた 5 年生(高校 2 年生)は、オープンスクールでの目標を「STEAM」って、何? と、聞かれないことだと力説します。「チェックインは授業開始時の緊張をほぐすため、ブレストはブレイン・ストーミングのことで」と相手への伝わり易さに配慮した語り口は、素晴らしいと感じました。

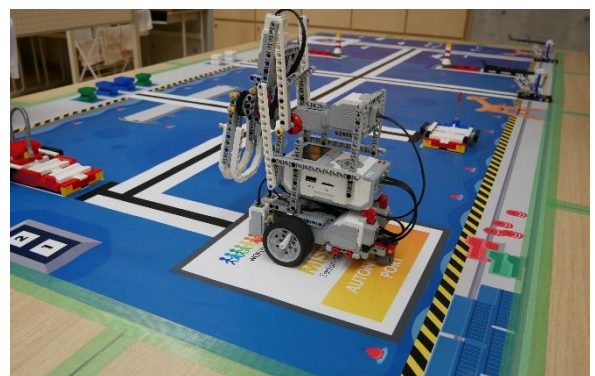
STEAM コースの先生は「オープンスクールで顕微鏡の画像を高精細のカメラで小学生に映像を見てもらえたのが、とても効果的でした。」と話されていました。

6 年生(高校 3 年生)は、STEAM コースを選んだ理由として「変わったことがしくて探究とか研究がやりたくて」と教えてくれました。

担当の情報科 橋倉先生は「プログラミングもロボットを使うことでより効果的な習得が狙えます。」と体感する重要性を強調されていました。突然の質問にも将来やりたいことや目標を自分の言葉で語れるのは凄いことだと感じました。

近い将来、日本のものづくりを大きく変えてくれる期待大です。

https://mzaidan.mazda.co.jp/results/science_business/index.html



(朝野)